

# 三重県がん対策戦略プラン（第2次改訂）

## 年次報告書（平成29年度）

三重県医療保健部健康づくり課

## 「三重県がん対策戦略プラン 第2次改訂」の評価について

三重県では、平成16年度に「三重県がん対策戦略プラン」を策定し、総合的ながん対策を推進してきましたが、がん対策推進基本計画の策定を受け、平成20年8月に同プランの改訂を行い、さらに平成25年4月に第2次改訂を行い、県内のがん対策の推進に努めてきました。

また、がん対策をさらに推進するため、平成26年4月1日に「三重県がん対策推進条例」を施行し取り組みを進めています。

### 1. 全体目標

本プランでは全体目標として、以下の3項目を掲げています。

- ① がんによる年齢調整死亡率（75歳未満）が全国平均より10%以上低い状態  
計画策定時（平成23年実績：三重県78.5、全国平均83.1）
- ② 全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の向上
- ③ がん患者とその家族に対する社会全体での支援

### 評価

- ① 平成29年実績：三重県67.4、全国平均73.6 到達目標66.2（ $=73.6 \times 0.9$ ）  
結果、目標は達成できませんでしたが、達成率は98.2%です。
- ② 厚生労働省の示す開催指針に基づく緩和ケア研修を修了した医師数は、平成29年度末現在で1,440人（累計・拠点、準拠点病院以外も含む）に達しています。
- ③ 三重県がん相談支援センターや各がん診療連携拠点病院等が設置するがん相談支援センターにおいて、がん患者とその家族のための相談と情報提供が行われています。

## がんによる年齢調整死亡率（75歳未満）

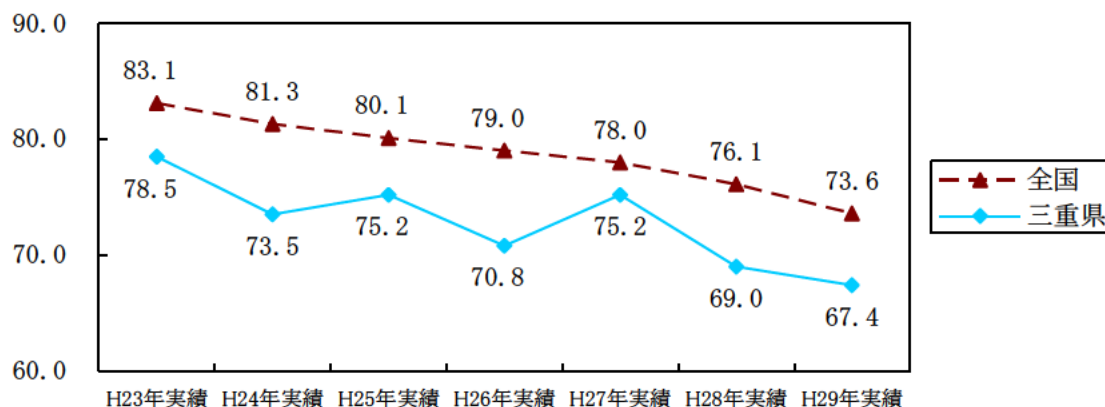
10万対比	現状* H23年実績	平成25年 H24年実績	平成26年 H25年実績	平成27年 H26年実績	平成28年 H27年実績	平成29年 H28年実績	平成30年 H29年実績
全国平均	83.1	81.3	80.1	79.0	78.0	76.1	73.6
目標値 (全国平均×0.9)		73.2	72.1	71.1	70.2	68.5	66.2
三重県	78.5	73.5	75.2	70.8	75.2	69.0	67.4
達成率		99.6%	95.9%	100.4%	93.4%	99.3%	98.2%

※国立がん研究センターがん情報サービス『がん登録・統計』

(データソース：人口動態統計（厚生労働省大臣官房統計情報部）)

\* 現状とは、本計画の改訂時（平成25年3月）における現状を示した値です。この値が目標値に達するよう取り組んでいきます。

### がんによる年齢調整死亡率（75歳未満）



## 2. 分野別施策における数値目標（別表参照）

全32項目について、「A 達成できる（既に達成している）」、「B 計画改訂時より改善」、「C 横ばい」、「D 計画改訂時より悪化」、「— 評価困難」の5段階で評価を行いました。

結果は、A評価10項目（31.3%）、B評価12項目（37.5%）、C評価7項目（21.9%）、D評価3項目（9.4%）、評価困難0項目（0%）となりました。

## 【予防】

# I がん予防の推進

## (1) 喫煙防止

＜平成 29 年度の主な取組＞

- ・ 県及び保健所が主催するイベントや研修会等の機会を捉え啓発を実施しました。
- ・ 禁煙支援の人材育成として、特定健診・特定保健指導従事者を対象に研修会を実施しました。
- ・ 受動喫煙防止対策の一環として、「たばこの煙の無いお店」の認定を行っています。平成 29 年度末現在 428 店を認定し、県のホームページなどで紹介しています。



(指標進捗状況)

**成人の喫煙率 : 16.4%**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	20.3%	19.4%	未実施	未実施	17.7%	未実施
達成率		84.5%			92.7%	

※国民生活基礎調査

**未成年者（15～19 歳）の喫煙率 : 0%**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
男	6.4%	未実施	未実施	未実施	1.4%	未実施
女	1.7%				0%	

※県民健康意識調査

**「たばこの煙の無いお店」登録数 : 500 店（年間 50 店舗の増加）**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	242 店	286 店	317 店	349 店	382 店	428 店
目標値		300 店	350 店	400 店	450 店	500 店
増加数		44 店	31 店	32 店	33 店	46 店
達成率		95.3%	90.6%	87.3%	84.9%	85.6%

**公共の場における分煙実施率 : 市町施設 90%、県施設 100%**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
市町施設	78.2%	未実施	未実施	未実施	77.4%	未実施
県施設	98.6%	未実施	未実施	未実施	100.0%	未実施
達成率					市町 86.0% 県 100.0%	

(評価と対策)

- ・ たばこの煙の無いお店については、増加傾向にあります。引き続き、禁煙に関する普及啓発活動や分煙等の促進に努めます。

**(2) 生活習慣の改善**

<平成 29 年度の主な取組>

- ・ がんの予防に絡め、健康的な食生活の実現に向けて、多様な主体と連携し、イベント等のあらゆる機会を利用し、バランスのとれた食事に関する普及啓発を行いました。
- ・ 生活習慣病対策をはじめがん予防を推進するため、「健康づくり応援の店」登録店に対し、情報提供を行うほか、新規登録店舗数の増加に向け取り組みました。(健康づくり応援の店：累計 427 店舗)
- ・ 県内の企業において、働く世代を対象に「食塩の過剰摂取」の改善と「うす味の定着」をめざし、しょうゆ差しの工夫や、減塩調味料への変更、健康・栄養相談を行い、社員食堂と健康管理部門が連携した健康づくりの意識の向上を図りました。
- ・ 将来に向けたがん予防として、教育委員会と連携し、がん教育の取り組みを 2 つの小学校と 6 つの中学校で実施しました。



※スプレー式しょうゆ差し：  
1 押しで 0.1 g のしょうゆが吹き付けられる。

(指標進捗状況)

**1 日あたりの平均脂肪エネルギー比率 (30~59 歳) : 25.0%**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	26.6%	未実施	未実施	未実施	28.0%	未実施
達成率					89.3%	

※県民健康・栄養調査

**成人 1日あたりの平均食塩摂取量 : 8.0 g**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	10.6%	未実施	未実施	未実施	9.7 g	未実施
達成率					82.5%	

※県民健康・栄養調査

**成人 1日あたりの平均野菜摂取量 : 350 g**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	278 g	未実施	未実施	未実施	244 g	未実施
達成率					69.7%	

※県民健康・栄養調査

**運動習慣者の割合 : 男性 29.0%、女性 26.0%**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	男 24.6% 女 21.1%	未実施	未実施	未実施	男 38.7% 女 30.9%	未実施
達成率					男 133.4% 女 118.8%	

※県民健康意識調査

**肥満の人の割合 (30~49 歳男性) : 32.6%**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	35.2%	未実施	未実施	未実施	28.7%	未実施
達成率					113.6%	

※県民健康・栄養調査

(評価と対策)

- ・ 生活習慣病予防を進めることで、がん予防につながることから、引き続き多様な主体と連携し、生活習慣病予防に努めます。
- ・ がん教育について、引き続き教育委員会と連携して取り組みを推進します。

### (3) 肝炎対策

<平成 29 年度の主な取組>

- ・ 陽性者のフォローアップや初回精密検査及び定期検査費用の助成を含む重症化予防事業を開始するとともに、保険適用となったインターフェロンフリー治療の新薬を医療費助成の対象とすることにより、肝炎ウイルス罹患者の早期発見・早期治療を推進し、肝がん予防の促進に努めました。

(指標進捗状況)

**インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療に係る治療費助成受給者の  
累積数 : 3,800 人**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	2,594 人	2,924 人	3,313 人	3,701 人	3,859 人	3,990 人
達成率		76.9%	87.2%	97.4%	101.6%	105.0%

(評価と対策)

- ・ 保健所及び委託医療機関での無料検査の実施、陽性者のフォローアップ事業、初回精密検査・定期検査・治療に対する費用の助成等を受けてウイルス性肝炎の治療を行う人が増加しています。引き続き、肝炎対策の事業を継続するとともに、肝炎ウイルス検査の必要性や肝炎に関する正しい知識の普及啓発に努めることにより、肝がん予防を促進します。

## 【早期発見】

# II がんの早期発見の推進

### (1) がん検診の効果的な実施と受診率の向上

<平成 29 年度の主な取組>

- ・ 市町担当者会議において情報提供を行うなど、がん検診受診率向上のため市町の取り組みを支援しました。
- ・ パンフレットなどを活用し、がん検診の必要性や、早期発見の重要性について、普及啓発活動を実施しました。(県民ホールでの啓発活動等を実施)

(指標進捗状況)

**がん検診受診率 : 乳がん・子宮頸がん 50%、大腸がん・胃がん・肺がん 40%**

三重県 (国)	現状	平成 25 年 H24 年度実績	平成 26 年 H25 年度実績	平成 27 年 H26 年度実績	平成 28 年 H27 年度実績	平成 29 年 H28 年度実績
乳がん	19.8% (18.3%)	18.8% (17.4%)	33.4% (25.3%)	37.8% (26.1%)	37.8% (-)	43.4% (-)
子宮頸がん	28.3% (23.9%)	30.9% (23.5%)	51.6% (31.1%)	54.2% (32.0%)	53.1% (-)	50.0% (-)
大腸がん	23.4% (18.0%)	24.0% (18.7%)	30.0% (19.0%)	30.0% (19.2%)	32.8% (-)	28.5% (-)
胃がん	7.2% (9.2%)	7.4% (9.0%)	9.9% (9.6%)	9.8% (9.3%)	10.0% (-)	25.1% (-)
肺がん	19.9% (17.0%)	21.2% (17.3%)	22.4% (16.0%)	23.0% (16.1%)	25.4% (-)	24.8% (-)

※地域保健・健康増進事業報告

- ・ 対象年齢：H24 年実績までは 40 (子宮頸がんは 20) 歳以上、H25 年実績からは 40 (子宮頸がんは 20) ～69 歳
- ・ H27 年以降の実績は試算値

(評価と対応)

- ・ 多様な主体と協力しながら、受診率の向上に向け取り組みを行っています。指標である地域保健・健康増進事業報告における受診率は、改善傾向にありますが、引き続きがんの早期発見などの重要性について啓発するとともに、効果的な受診勧奨の手法について検討します。



(参考) 平成 28 年国民生活基礎調査によるがん検診受診率

	全国	三重県
乳がん	36.9%	41.4%
子宮がん	33.7%	36.6%
大腸がん	41.4%	42.5%
胃がん	40.9%	40.6%
肺がん	46.2%	45.6%

※3年に一度の調査であり、全都道府県の各地域を無作為に抽出。

## (2) 精度の高いがん検診の実施

<平成 29 年度の主な取組>

- ・がん検診を実施している市町の精度管理状況の確認及び、集団検診実施機関の精度管理をおこない、結果を通知し、改善を促しています。

(指標進捗状況)

### 精密検査受診率 : 精検受診率の向上

三重県	現状	平成 25 年 H23 年度実績	平成 26 年 H24 年度実績	平成 27 年 H25 年度実績	平成 28 年 H26 年度実績	平成 29 年 H27 年度実績
乳がん	76.3%	76.9%	81.2%	79.6%	82.8%	84.0%
子宮頸がん	62.0%	59.3%	69.3%	63.0%	67.0%	72.9%
大腸がん	62.5%	57.8%	61.8%	61.4%	63.2%	66.0%
胃がん	71.9%	69.3%	66.3%	67.9%	73.1%	65.0%
肺がん	62.7%	65.9%	61.2%	65.9%	71.7%	77.7%

※地域保健・健康増進事業報告

- ・対象年齢：H23 年実績までは 40（子宮頸がんは 20）歳以上、H24 年実績からは 40（子宮頸がんは 20）～69 歳

(評価と対応)

- ・がん検診の精度を向上していくためには、精密検査受診率の向上と共に、その結果の把握が重要です。一定の条件を満たす精密検査医療機関の情報を提供するなど、精密検査受診率向上に取り組めます。

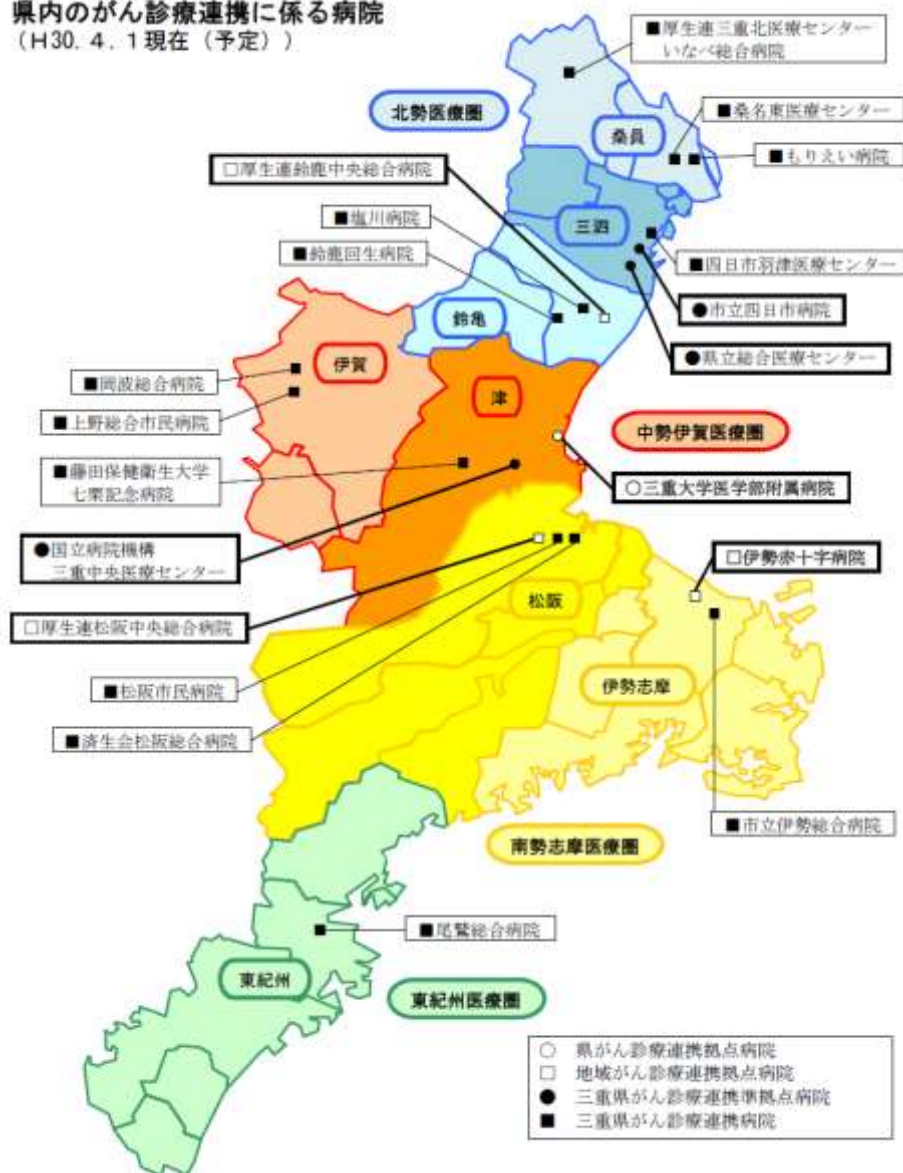
## 【がん医療】

# Ⅲ 医療機関の整備と医療連携体制の構築

＜平成 29 年度の主な取組＞

国におけるがん診療連携拠点病院等の指定要件の見直しを受け、平成 26 年度に県のがん医療提供体制のあり方について一連の整理を行い、それまでの三重県がん診療連携推進病院（以下「推進病院」という。）に替わり、三重県がん診療連携準拠点病院（以下「準拠点病院」という。）及び三重県がん診療連携病院（以下「連携病院」という。）の指定に関する要綱を定めました。この要綱に基づき、市立四日市病院を準拠点病院に指定するとともに、13 病院を連携病院に指定しました。

県内のがん診療連携に係る病院  
(H30. 4. 1 現在 (予定))



(H30.4.1 現在)

国指定	都道府県がん診療連携拠点病院	中勢伊賀保健医療圏	1 か所
	地域がん診療連携拠点病院	北勢保健医療圏 南勢志摩保健医療圏	1 か所 2 か所
県指定	三重県がん診療連携準拠点病院	北勢保健医療圏 中勢伊賀保健医療圏	2 か所 1 か所
	三重県がん診療連携病院	北勢保健医療圏 中勢伊賀保健医療圏 南勢志摩保健医療圏 東紀州保健医療圏	6 か所 3 か所 3 か所 1 か所

(指標進捗状況)

**三重医療安心ネットワークへの参加医療機関数 : 220 機関**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	109 機関	162 機関	221 機関	243 機関	273 機関	279 機関
達成率		73.6%	100.5%	110.5%	124.1%	126.8%

**三重県がん診療連携推進病院の指定数 : 9 病院**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	6 病院	10 病院	10 病院	10 病院	10 病院	10 病院
達成率		111.1%	111.1%	111.1%	111.1%	111.1%

(評価と対応)

- ・ システムを導入した医療機関の増加にあわせ、ネットワークに参加する医療機関等も増加しています。引き続き、ネットワークへの参加及び利用を促進していきます。
- ・ 推進病院に替わり準拠点病院、連携病院の指定により、がん医療体制の一層の充実、強化を図ります。

## IV 放射線療法、化学療法、手術療法のさらなる充実とチーム医療の推進

＜平成 29 年度の主な取組＞

- ・ 拠点病院、準拠点病院および推進病院において、放射線療法、化学療法、手術療法等を組み合わせた集学的治療を推進し、専門資格を有する医師や看護師、薬剤師等の医療従事者の養成を図るため、体制の整備に努めました。
- ・ がん治療時に歯科口腔ケアを行うことが、がん治療に効果があることから、三重県歯科医師会、がん診療連携拠点病院、三重県が連携することで、がん治療時における口腔ケアを促進しました。

(指標進捗状況)

拠点病院（準拠点病院）・推進病院におけるチーム医療

体制の整備 : 12 病院

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	8 病院	11 病院	13 病院	13 病院	14 病院	14 病院
達成率		91.6%	108.3%	108.3%	116.7%	116.7%

拠点病院（準拠点病院）・推進病院に日本放射線腫瘍学会が認定する放射線治療専門医を配置 : 12 病院 12 人

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	3 病院 6 人	3 病院 6 人	4 病院 9 人	5 病院 11 人	6 病院 12 人	7 病院 12 人

拠点病院（準拠点病院）・推進病院に日本臨床腫瘍学会が認定するがん薬物療法専門医を配置 : 12 病院 12 人

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	4 病院 9 人	4 病院 6 人	5 病院 10 人	4 病院 6 人	6 病院 9 人	4 病院 9 人

拠点病院（準拠点病院）・推進病院の外来化学療法室等に日本医療薬学会が認定するがん専門薬剤師を配置 : 12 病院 12 人

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	3 病院 4 人	3 病院 3 人	3 病院 5 人	2 病院 5 人	3 病院 6 人	3 病院 5 人

(評価と対応)

- ・ 今後さらに目標に向けて、拠点病院、準拠点病院および推進病院への放射線治療専門医、がん薬物療法専門医、がん専門薬剤師の配置による体制の整備に努めます。

## V がんと診断された時からの緩和ケアの推進

<平成 29 年度の主な取組>

- ・ 拠点病院等が実施主体となり、県内 8 か所で、医師に対する緩和ケア研修を実施しました。コ・メディカルスタッフにも医師と同等の研修が必要であることから、コ・メディカルスタッフへの研修も実施しました。また、研修を受けやすくするため、土曜、日曜、祝日に開催しました。

緩和ケア研修会開催状況

医療機関名	開催日
伊勢赤十字病院	平成 29 年 5 月 17 日 (水) ~20 日 (土)
県立総合医療センター	平成 29 年 6 月 4 日 (日)、11 日 (日)
三重大学医学部附属病院	平成 29 年 6 月 10 日 (土)、11 日 (日)
松阪中央総合病院	平成 29 年 7 月 16 日 (日)、17 日 (月)
三重大学医学部附属病院	平成 29 年 8 月 26 日 (土)、27 日 (日)
三重中央医療センター	平成 29 年 9 月 16 日 (土)、17 日 (日)
鈴鹿中央総合病院	平成 29 年 11 月 11 日 (土)、12 日 (日)
市立四日市病院	平成 29 年 12 月 3 日 (日)、10 日 (日)

(指標進捗状況)

緩和ケアセンターの整備数 : 1 病院

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	-	1 病院	1 病院	1 病院	1 病院	1 病院
達成率		100%	100%	100%	100%	100%

二次保健医療圏において、緩和ケアチームを設置している医療機関を複数  
箇所整備 : **4 保健医療圏**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	3 保健医療圏	3 保健医療圏	3 保健医療圏	3 保健医療圏	3 保健医療圏	3 保健医療圏
達成率		75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%

二次保健医療圏におけるメディカルスタッフを対象とした緩和ケア研修  
の実施 : **4 保健医療圏**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	3 保健医療圏	3 保健医療圏	3 保健医療圏	3 保健医療圏	3 保健医療圏	3 保健医療圏
達成率		75.0%	75.0%	75.0%	75.0%	75.0%

がん医療に携わる全ての医師が緩和ケア研修を修了している拠点病院（準拠  
点病院）・推進病院数 : **12 病院**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	-	0 病院	0 病院	0 病院	0 病院	0 病院
達成率		0%	0%	0%	0%	0%

医療用麻薬の消費量 : **40.0 g（人口千人あたり/モルヒネ換算合計）**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	29.1 g	27.5 g	29.3 g	27.8 g	27.6 g	
達成率		68.8%	73.3%	69.5%	69.0%	

拠点病院（準拠点病院）・推進病院に緩和医療学会が認定する暫定指導医もし  
くは専門医を配置 : **12 病院（6 拠点病院、6 推進病院）**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	4 病院 4 人	4 病院 4 人	4 病院 4 人	2 病院 2 人	3 病院 3 人	4 病院 5 人

（評価と対応）

- ・ 緩和ケア研修を受講する医師数の増加について、各医療機関と連携して取り組む必要  
があります。

## VI 在宅医療の推進

<平成 29 年度の主な取組>

- ・ 医療介護総合確保基金を活用し、三重医療安心ネットワークの機能を生かし、多職種連携による在宅医療に向けたシステム構築の検討を行いました。連携医療機関の増加に伴い、地域における医療機関等のネットワークへの参加が促進されました。

(指標進捗状況)

**【再掲】三重医療安心ネットワークへの参加医療機関数 : 220 機関**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	109 機関	162 機関	221 機関	243 機関	273 機関	279 機関
達成率		73.6%	100.5%	110.5%	124.1%	126.8%

(評価と対応)

- ・ システムを導入した医療機関の増加にあわせ、ネットワークに参加する医療機関等も増加しています。引き続き、ネットワークへの参加及び利用を促進していきます。

## VII がん登録の推進

<平成 29 年度の主な取組>

- ・ 平成 28 年 1 月より開始する全国がん登録の実施に向け、医療機関のがん登録担当者向けの研修会を開催しました。あわせて、全国がん登録に参加する診療所の指定申請を募集し、平成 30 年 1 月時点で 212 施設を指定しました。

三重県地域がん登録の精度

登録年	DCN割合※1	DCO割合※2
2012	16.9	7.6
2013	9.7	7.9
2014	8.4	6.3

※1 Death Certificate Notifications (死亡診断書により初めてがんを把握)

※2 Death Certificate Only (死亡診断書以外の情報がない)

国際的ながん登録の精度指標 : DCN20%未満かつDCO10%未満

(指標進捗状況)

標準登録様式を採用して院内がん登録を実施している病院数 : 20 病院

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	14 病院	19 病院	19 病院	19 病院	19 病院	19 病院
達成率		95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%

(評価と対応)

- ・ 地域がん登録の精度は比較的良好な状況でした。全国がん登録に向け、さらに高い精度の情報を確保し、得られた情報を有効に活用できるよう努めます。

## VIII がん医療を担う人材の育成

(指標進捗状況)

拠点病院(準拠点病院)・推進病院に日本がん治療認定医機構が認定するがん治療認定医を配置。 : 12 病院 100 人

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	10 病院 80 人	12 病院 103 人	12 病院 90 人	11 病院 87 人	12 病院 93 人	12 病院 95 人

拠点病院(準拠点病院)・推進病院に日本看護協会が認定する専門看護師(がん看護)を配置。また、日本看護協会が認定する認定看護師(がん化学療法看護、緩和ケア、がん性疼痛看護、乳がん看護、がん放射線療法看護)を配置。 : 専門看護師 12 病院 12 人、認定看護師 12 病院 36 人

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	専門看護師 5 病院 6 人 認定看護師 9 病院 23 人	専門看護師 4 病院 5 人 認定看護師 11 病院 24 人	専門看護師 8 病院 10 人 認定看護師 13 病院 33 人	専門看護師 7 病院 9 人 認定看護師 14 病院 38 人	専門看護師 9 病院 10 人 認定看護師 14 病院 37 人	専門看護師 10 病院 12 人 認定看護師 14 病院 37 人

三重大学医学部附属病院で育成する日本小児血液・がん学会が認定する小児血液・がん専門医数 : 5 人

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	—	0 人	2 人	4 人	4 人	4 人
達成率		0%	40%	80%	80%	80%



## 【予後】

# IX 相談支援および情報提供の充実

＜平成 29 年度の主な取組＞

- ・ がん患者及びその家族のための相談支援を行う「三重県がん相談支援センター」を運営するとともに、各がん診療連携拠点病院等の相談員で構成される「三重県がん診療連携協議会がん相談支援部会」に定期的に参加し、がん相談に関する意見交換会を行いました。さらに、社会保険労務士による、がん患者の就労支援に取り組みました。また、がん相談員研修会では、「がん患者への就労支援」を三重大学医学部附属病院で実施した。

(指標進捗状況)

**地域におけるがんサロンの運営数 : 8 か所**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	4 か所	5 か所	6 か所	6 か所	7 か所	7 か所
達成率		62.5%	75.0%	75.0%	87.5%	87.5%

**拠点病院（準拠点病院）、推進病院および三重県がん相談支援センターにおける国立がん研究センター主催の「相談支援センター相談員基礎研修（3）」の修了者数 : 38 名**

	現状	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	23 名	26 名	31 名	30 名	31 名	42 名
達成率		68.4%	78.9%	78.9%	81.6%	110.5%

**三重県がん診療連携協議会がん相談支援部会によるがん相談員研修会の開催（累計） : 各年 1 回 計 5 回**

	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年
三重県	1 回開催	1 回開催	3 回開催	1 回開催	1 回開催
達成率	100%	100%	300%	100%	100%

(評価と対応)

- ・ 医療機関ではない組織におけるがん相談を行える機関として、引き続き、患者とその家族への相談対応を行うとともに、認知度の向上と地域におけるサロンの育成に努め

ます。

- ・ がんを取り巻く環境の変化に伴い、就労しながらがん治療ができるよう、引き続き社会保険労務士による相談・支援に取り組みます。